

肝動脈塞栓術・薬物注入療法を受けられる方へ(入院診療計画書)

患者氏名: _____

受け持ち医師: _____

項目	月日	治療前日	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1日目	治療後2日目	治療後3~4日目	治療後5~9日目	治療後10日目(退院当日)
目標		不安なく、体調を整えて治療を受けられる 治療の必要性が理解でき、同意している	治療の準備が整う	合併症を起こすことなく、経過できる 治療後、安静を守ることができる	合併症なく、トイレ歩行ができる			退院後の生活について理解 でき、準備ができる	
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置 リハビリ		<ul style="list-style-type: none"> 日頃より飲んでいるお薬を確認します。(お薬の種類により治療1週間前から中止するものがあります) 身長体重を測ります 午後より点滴を行います 治療時の感染予防のため、足の付け根・ふとももの毛を剃ります 脈拍を確認するため足の甲に×印を付けます 	<ul style="list-style-type: none"> 朝7時までに()を内服してください 点滴を行います 検査着に着替えます 洗腸をします 検査前に筋肉注射の安定剤を注射します 治療はレントゲン室で行います 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります 足の付け根の針を刺したところをテープで圧迫固定します 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります 医師の診察後、足の付け根の針を刺したところを消毒します 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります 	<ul style="list-style-type: none"> 4日目、点滴終了後に針を抜きます 		
検査		血液、レントゲン、心電図検査があります			血液検査をします		血液検査をします		
活動・安静度		特に制限はありません	制限はありません	<ul style="list-style-type: none"> 治療後より翌日の医師の診察時まで、ベッド上安静になります(特に針を刺した側の足は動かさません) ストレッチャーで病室に戻ります 医師が診察します 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管が抜けたら安静が解除となります 尿管を抜いたら歩けます 尿管を抜いて、はじめて歩行する時は、看護師が付き添いをします 				
食事		<ul style="list-style-type: none"> 病状にあった食事をお出します 21時以降は絶食になります 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食より絶食水になります 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間経過後より飲水が可能になります 水分を取って吐き気がない時は、夕食から食事ができます 安静中は横になったまま食べていただきます 					
清潔		入浴できます	入浴できません		清拭を行います	医師の診察後に状態によりシャワー浴が可能になります		退院前日に入浴が可能になります	
排泄		制限はありません	尿管が入ります		診察後、異常なければ、尿管を抜きます 医師の指示により、尿を備え付けの蓄尿カップにためていただく場合があります				
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導		<ul style="list-style-type: none"> 入院時オリエンテーションを行います 入院診療計画書をお渡しします 同意書を確認します 薬剤師による服薬指導があります 			治療結果の説明があります (状況によっては、当日説明ができない場合があります)	薬剤師による服薬指導があります		<ul style="list-style-type: none"> 退院おめでとうございます 会計用紙をお渡しします 退院療養計画書をお渡しします 診察券とお薬をお渡しします 	
その他		看護師が状態観察に伺います	看護師が状態観察に伺います 放射線科看護師が訪問します	治療後、腹痛、吐き気、発熱など症状がありましたら、お知らせください	尿管が抜けても尿が出ない場合はお知らせください				

担当看護師: _____

本人・家族サイン: _____